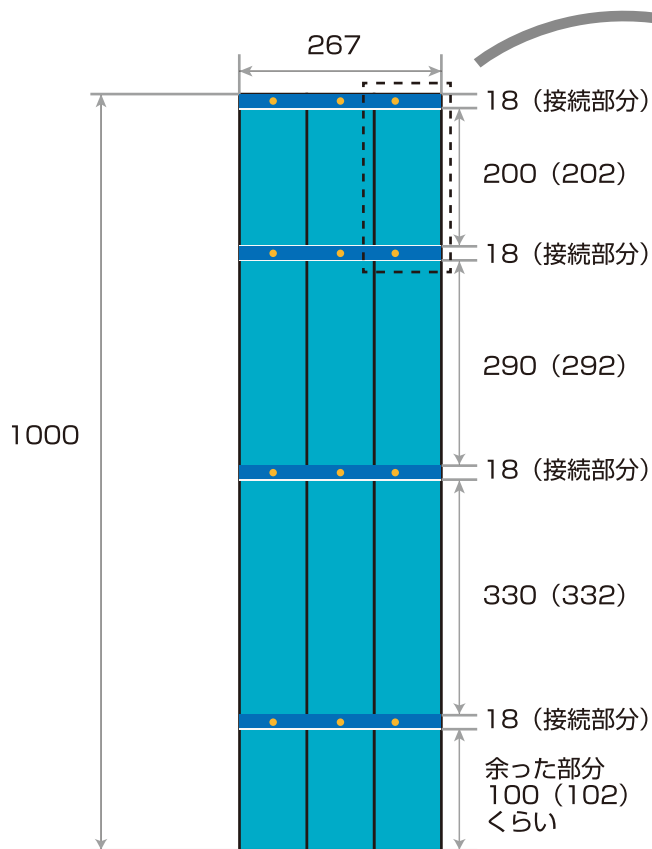


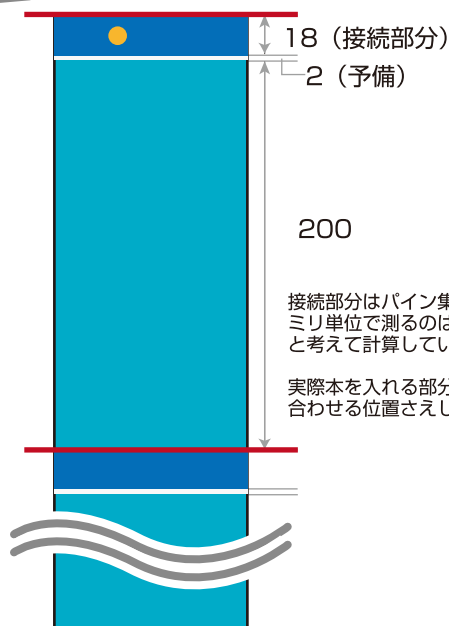
# 【墨付け図】

【側板 A・B】 1×4 材を継いだ板



【拡大図】

棚板は常に上のラインに合わせる



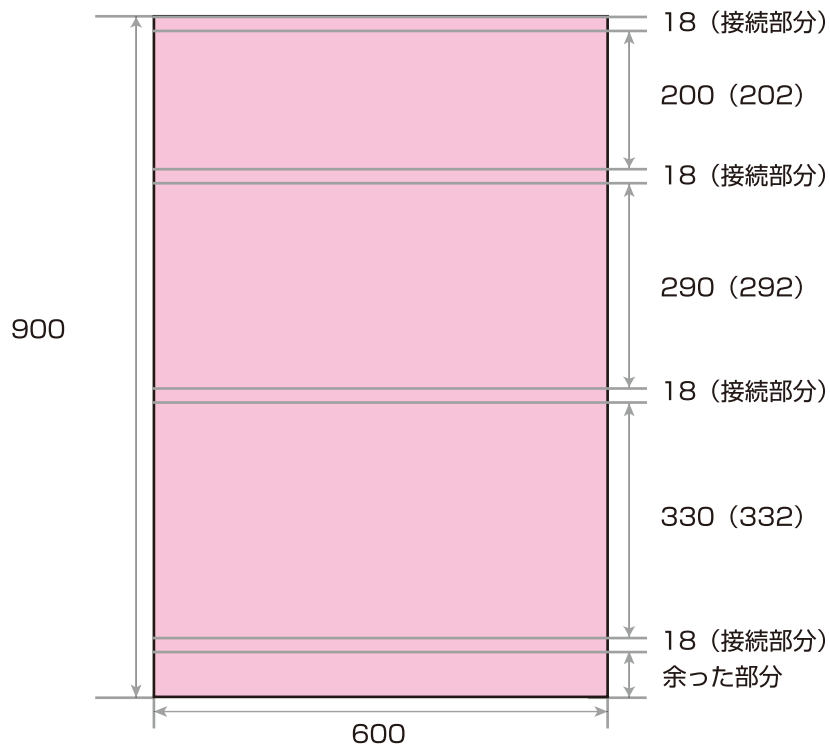
接続部分はパイン集成材の厚さ分になるのだけれど、ミリ単位で測るのは難儀なので、接続分は20mmと考えると計算していくとわかりやすいかも。

実際本を入れる部分の高さは数ミリ高くなるけれど、合わせる位置さえしっかり把握できていれば大丈夫。

**ポイント**

←上から順番に測っていき、最終的に脚になる部分は調整部分と考えておくと気が楽。

【裏板】 シナベニヤ



【棚板 4枚】 パイン集成材

棚板はそのまま使うだけなので墨付けなし。

